

バカロレア認定校 県立横浜国際高等学校



- Risk Taker 挑戦する人
- Principal 信念のある人
- Communications コミュニケーションができる人
- Knowledgeable 知識のある人
- Balanced バランスのある人
- Thinkers 考える人
- Reflective 振り返りができる人
- Caring 思いやりがある人
- Inquires 探求する人
- Open-minded 心開く人

国際バカロレア認定校 福岡第一高等学校 (私立高校)



バカロレア担当の先生と

少人数による英語での授業

田高校への説
 して、県や、竹
 定校になるべ
 ナルバカロレ
 インターナシ
 確保に向けて、
 加価値、生徒数
 校同窓会は、付
 現在、竹田高

田市の過疎化が
 加速します。竹
 田高校を存続さ
 せること、その
 ための付加価値
 化による生徒数
 確保は愁眉の課
 題であります。

明、他市の同窓会への説明、
 他県のIB校(横浜国際高校・
 福岡第一高等学校)を訪問パ
 カライジング社へ高校変革の
 必要性の説明を行っておりま
 す。認定校(国際科新設)に
 なれば、国内外からの生徒確
 保、ハイレベルな授業、知識
 中心から思考方法への転換、
 外国でも通用するグローバル
 な人材育成、しいては竹田市
 がグローバルシティになろう
 かと思います。歴史、文化の
 深い竹田市、関一楽からの学
 問の府、由学館、修道館、そ
 して竹田高校と江戸時代から
 学問への姿勢は熱く、今はま
 さにその精神を受け継いで、
 グローバル化時代の波に、情
 報化の波から、さらに生活環
 境の便利さを求めるSoci
 ety5・0という波に対応
 するために、高校も市も県も、
 地方創生を含めて至急大きく
 かじ取りする必要にせまられ
 ています。

ていく構図になっていつてま
 す。竹田高校の位置づけも、
 従来の学びの舍から、大きく
 様変わりしてしています。高
 校がなくなれば、中学へ、小
 学校へいく生徒も家族も、便
 利さを考え、他市に移り、竹

然災害や危険から、サイバー
 空間にも、安心、安全な環境
 を構築するというような挑戦
 を、社会を洞察した学びの中
 から進んで行なって頂きたい。
 皆さんの明るい将来に期待し
 ています。



インターナショナル

バカロレア認定校にむけて

二十一期生(昭和四十四年卒) 阿南 修平

現在竹田高校は、少子高齢
 化の波にさらされており、定
 員割れが続いている状況であ
 り、このまま、推移してい
 と他校との合併、市の存続も
 危ぶまれてきます。いわゆる
 限界市になり、一気にすたれ

田市の過疎化が
 加速します。竹
 田高校を存続さ
 せること、その
 ための付加価値
 化による生徒数
 確保は愁眉の課
 題であります。

明、他市の同窓会への説明、
 他県のIB校(横浜国際高校・
 福岡第一高等学校)を訪問パ
 カライジング社へ高校変革の
 必要性の説明を行っておりま
 す。認定校(国際科新設)に
 なれば、国内外からの生徒確
 保、ハイレベルな授業、知識
 中心から思考方法への転換、
 外国でも通用するグローバル
 な人材育成、しいては竹田市
 がグローバルシティになろう
 かと思います。歴史、文化の
 深い竹田市、関一楽からの学
 問の府、由学館、修道館、そ
 して竹田高校と江戸時代から
 学問への姿勢は熱く、今はま
 さにその精神を受け継いで、
 グローバル化時代の波に、情
 報化の波から、さらに生活環
 境の便利さを求めるSoci
 ety5・0という波に対応
 するために、高校も市も県も、
 地方創生を含めて至急大きく
 かじ取りする必要にせまられ
 ています。

同窓会役員紹介

- 顧問 田北 和義
- 会長 服部 眞二
- 副会長 堀 幸子
- 事務局長 阿南 修平
- 事務局員 和田 民子
- 会計 工藤 英幸
- 監事 赤嶺 洋一
- 学校監事 高橋 功
- 森 日登美
- 合澤 哲郎
- 工藤 厚憲
- 高野 将
- 伊藤 厚憲
- 堀 幸子
- 服部 眞二
- 田北 和義

編集後記

今年、台風の影響で、各
 地に災害をもたらし、一方農
 産物では、異常にウンカが発
 生、沢山の田んぼが被害を受
 けました。今回の編集では、
 他会長、県会議員の投稿もお
 願いました。竹田市内では、
 無電柱化が推進され、現在、「竹
 田市城下町交流プラザ」や「歴
 史文化交流センター」の建設
 が進行中です。来年には竹田
 市内の装いが大きく変わるで
 しょう。 広報担当 阿南修平